

# ECHIGO ICHIIE

一会

越後

Vol.

21

2016.  
WINTER



一般社団法人 新潟県建築士事務所協会

会長 挨拶  
本部・各支部 事業報告



## 年頭のごあいさつ



あけましておめでとうございます。私も会長職を仰せつかりまして1年8か月あまりが過ぎ、やっと自身の方向性も見えてきたような気がいたします。昨年は残念なことに、我々建築業界を揺るがした「免震偽装」「杭工事データ偽装」が発覚、又「新国立」決定案の破綻と、大きな信頼を裏切る出来事が続いてしまいました。本県では免震に関する疑惑物件は1件にとどまり、杭工事に関する苦情は本協会には来ておりません。

「新国立」もデザインビルド方式で決まったのは残念ですが、工期、予算の事を考えると結果的には良かったと思っております。我々もこれからの建築業界の信頼回復に、責任を持って行動をしていきたいと思っております。「改正建築士法」が、昨年6月に施行され、適正な報酬で契約という条項が織り込まれ、私達設計を業としている者にとって重要な改正が動き始めました。又、当協会がこれから取り組んでいく事業の一つに、設計者を目指す若手の育成があります。今、高校生以上を対象にした、学校訪問(出前講座)

をする為の、パワーポイントづくりを、業務・技術委員会で作成しており、新年度には学校訪問を実施する予定です。会員の皆様にも、いずれご披露できると思います。会員拡大につきましては、広報・組織委員会で新しいリーフレット作りを進めており、これも新年度より活用の予定です。業界が元気になるためには、新潟や地域の魅力を再発見し外に向けた情報を発信していかなければなりません。後継者が育つ環境づくりには、何をしなければいけないのか考え、事業に織り込んでいきます。今年も皆様のご発展、ご健勝を祈念申し上げ年頭の挨拶とさせていただきます。

## 主な本部活動報告



日事連全国大会 茨城大会



管理研修会



スキルアップセミナー 県産杉の研修会



建築士の定期講習会



賀詞交換会 1



賀詞交換会 2



## 日事連報告

連載エッセイ / 第3話 作 / マツシマサトシ

## 鍛冶職人の驚くべき実力

日本に初めて鉄砲が伝来したのは、天文12(1543)年。漂着した中国船に乗っていたポルトガル人から伝えられたと教科書で習った人も多いはずだ。

その後、種子島でポルトガル人から譲り受けた鉄砲を複製し、やがて製造技術が泉州・堺や、紀州・根来などに伝えられ、各地で鉄砲が作られるようになった。

鉄砲が戦に使われるようになったのは、厳島の戦い(1555年)ころといわれるが、よく知られているのは、長篠の戦い。織田・徳川連合軍が、3000丁の鉄砲を3段構えで打ち続け、当時最強と謳われた武田の騎馬軍団を破った。天正3(1575)年のことである。このことで驚くのは、



鉄砲伝来から、わずか30年余りで、日本の鍛冶職人が完成度の高い鉄砲を生産する技術を身に付けていることだ。

現在、種子島は、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の大型ロケット発射場があることで知られている。「下町ロケット」でも描かれたように、世界最先端の技術を支えたのは、日本人が持っている金属加工技術の確かさだった。こうしてみると、その端緒は案外古いことが分かって興味深い。

## ■全国会長会議 (平成27年12月3日)

●政経フォーラム講師秋野卓生弁護士(日事連理事)  
「トラブルに巻き込まれないために  
知っておきたい法律知識」

- (1) 東洋ゴム免震装置事件と設計事務所の責任論
- (2) 改良杭の設計深度への未達・3/1000に満たない傾斜角を巡る裁判例
- (3) タイルの剥離、剥落に関する瑕疵担保責任・不法行為責任の成否
- (4) デザインビルド契約書等 新しい契約書の正しい作り方
- (5) 広告勧誘の落とし穴等

●報告事項:27年度実施要項

- (1) 平成27年度上半期事業報告及び決算報告について
- (2) 建築賠償保険の28年度の補償の拡充等について
- (3) 杭問題にかかわる相談窓口の設置について
- (4) 建築士事務所厚生年金基金の状況について

## 支部活動報告

## 下越支部 事業委員長 石渡 光輔

平成27年11月6日(金)~7日(土)に正会員15名、賛助会員5名の計15名にて、小布施・長野方面を巡る1泊2日の研修旅行を行いました。11月6日は小布施の街並みを散策しつつ、まちとしょテラソ、北斎館、岩松院の3施設を見学し、上山田温泉にて懇親会を行い宿泊しました。2日目の7日には長野市博物館、信濃美術館を見学し善光寺の見学・参拝の後、信州そばを頂いた後に自由時間を経て帰路につきました。各施設とも有意義な見学・散策が行えましたが、中でも善光寺では寺院に関する解説の他に回向柱などについても丁寧な解説を頂きました。2日間とも天候に恵まれ良い気候の中での研修旅行でした。



## 中越支部 技術委員長 小池 美鶴

9月28日に「旧長谷川邸・松籟閣」の見学会を、参加総数38名にて行いました。テーマを「失われつつある物にもう一度目を向けませんか」とし、それに「300年前と、80年前の建築を同時に見学する」ことでストーリー性を持たせ、又講師として二件を研究されておられる長岡造形大の平山教授に説明をお願いした結果、「分かりやすい」「再発見があった」等々と高い評価をいただいたようです。(アンケート実施。)11月21日に、昨年スキルアップセミナーで好評だった「村尾欣一氏の建築作品見学会」を、バスチャーターにて参加28名で「こまくさ保育園」「住宅」「越後森林館」を廻ったところ「木の暖かさ」「職人の技の素晴らしさ」を感じ取られたとの感想が多く聞かれ、「今度は大工に会ってみたい」との声も聞かれたほどでした。本年度の活動の締めくくりとして2月27日に「長岡藩主牧野家のあゆみ」(長岡城本丸御殿の事など)と題し、資料館見学+講演会が、牧野家17代当主牧野忠昌氏のご協力によって行われます。「見て」「聞いて」の二点セットとし、誰でも楽しく学べる企画となっておりますのでご期待ください。



## 上越支部 理事 橋詰 敏一

支部活動前期の活動として去る8月26日に大納涼会を高田本町の「越後農場ビスけん」で行いました。正会員・賛助会員合わせて40名程が集合。当日は多忙の中、坂本会長より出席いただき、上越の会員との懇親を深めていただきました。上越市の旧市街の高田本町界隈も各地もそうであるように、最近是人通りが減少し、シャッターが目立つようになりました。そんな中、これまで本町筋になかった業態の夜の飲食店がポツポツと出店してまいり、今回の会場もその一つです。松平・榊原と260年余りの歴史ある城下町で、各通り筋で住み分けしていた商売も時代と共に変革を迫られています。振り返って、私共業界も時代に合った変化をしなければとの会話が、あちこちで話されておりました。



## 新潟県知事表彰受賞

当協会の長年に亘る県土木事業の推進に貢献した功績に対し、平成27年11月20日県庁にて、県知事より受賞の栄を賜りました。  
表彰式当日は協会理事会のため、佤山副会長が受領しました。



## その他支部活動報告



会員交流ゴルフ大会



ゴルフ大会表彰式



研修旅行



登山同好会

### ■行事・講習会等インフォメーション

3月4日	(金)	新潟ユニゾンプラザ	2015年構造設計Q & A集講習会
4月19日	(火)	白山会館	理事会
5月19日	(木)	A N Aクラウンプラザホテル	定時総会
8月26日	(金)	新潟テルサ	適合証明技術者業務講習
9月29日	(木)	ハイブ長岡	建築士事務所の管理研修会
9月30日	(金)	新潟テルサ	建築士事務所の管理研修会
10月7日	(金)	帝国ホテル	第40回建築士事務所全国大会(東京開催)
10月26日	(水)	新潟ユニゾンプラザ	建築士の定期講習

### 新入会員のご紹介

正会員

2月1日現在の会員数 / 正会員 328名・賛助会員 183名

事務所名	開設者	住所	TEL	FAX
寺泊産業(株)	高橋 政徳	〒940-2502 長岡市寺泊上田町9769番地61	0258-75-3171	0258-75-5118

賛助会員

事務所名	開設者	住所	TEL	FAX
(株)湊創業	帆刈 健治	〒950-0107 新潟市江南区三百地4657	025-278-5005	025-278-5006
(株)目崎	目崎 晃	〒940-1149 長岡市青山新町35	0258-86-0888	0258-86-0889
兼松日産農林(株)新潟営業所	樋口 智士	〒950-0973 新潟市中央区上近江3-25-18	025-283-3231	025-283-7585
(株)ダイフレックス新潟営業所	塚本 祐一	〒950-0912 新潟市中央区南笹口1-2-16新潟CDビル3F	025-365-3010	025-365-3011

### あとがき

新年明けましておめでとうございます。早いもので、越後一会も刷新してから二回目を迎えました。これからも会員皆様の色々な活動、セミナー、勉強会等々なるべく多くの写真や活動報告を載せて事務所協会の動向や様子を伝えていきたいと思っております。それと同時にもっと多くの方に入会していただくためのツールとして、この越後一会を利用し、仲間を増やしていきたいとも思っています。

これからも事務所協会活動のご協力、会員増強に皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

広報・組織委員長 櫛井 弘

## ECHIGO ICHIE

2016.WINTER Vol.21



表紙写真  
冬のはさぎ(西蒲区)

発行：平成 28 年 2 月

発行所：一般社団法人 新潟県建築士事務所協会  
会長 坂本 志浩

編集：編集委員

委員長 櫛井 弘

副委員長 石渡 光輔

副委員長 甕沢 松男

委員 植木 厚祐

担当副会長 松田 道佳



一般社団法人 新潟県建築士事務所協会

〒951-8131 新潟市中央区白山浦1丁目614番地 白山ビル6F

TEL 025(265)4748 FAX 025(231)6553

URL <http://www.niaaf.or.jp/>

E-mail [kjk1523@niaaf.or.jp](mailto:kjk1523@niaaf.or.jp)